

## 令和3年度 新見市ふるさとキャリア教育

### 1 事業概要

新見市の豊富な地域資源や人材を活用し、学校、家庭、地域が連携した地域学習を行うことで、住んでいる地域への愛着や地元貢献意識を育み、将来の新見市を担う人材の育成を目指す。

### 2 「新見市ふるさとキャリア教育」でめざす子ども像

ふるさとを愛し、進んで社会に貢献し、  
世界で活躍しようとたくましく生きる子ども

### 3 新見市ふるさとキャリア教育で育成を目指す資質・能力

- ① ふるさとについて学ぶことや働くことの意義の理解
- ② ふるさとをよくするために自分ができることを考える力  
地域の人との関わりの中で、協力・協働する力  
自分の考えを表現する力
- ③ ふるさとのよさを知り、主体的に関わり、貢献しようとする態度

### 4 地域と連携した学習

児童生徒が、ふるさとの未来と自分の夢を主体的に創造していくことができるよう、新見市の地場産業、地域の生活を支える自然、歴史、文化等について、地域の方との交流・体験を通して、課題探究的な学習を行う。

取組	内容	対象
ふるさと職場体験	生徒が、地域の職業を体験することで、仕事のやりがいや苦勞、ふるさとの産業で働くことの意義を考える。	中学校 2年生
ふるさと職場見学	生徒が、地域の職場を見学することで、ふるさとの魅力を知り、地域の産業の強みについて学ぶ。	中学校 1年生
ふるさと学習	児童が、教科や特別活動、総合的な学習の時間等で学校周辺地域や新見市のよさについて学習する。 (千屋牛、ピオーネ、石灰、新見庄については必ず扱う)	小学校
ふるさと貢献・発信活動	児童生徒が、教科や特別活動、総合的な学習の時間等、学習を通して見つけた地域の魅力や課題について、貢献し、発信する活動。	小学校・中学校
ふるさと出前授業	新見市の様々な分野で活躍したり、地元で地域活性化やふるさと創生に取り組んだりしている市民が、郷土への思いを語ったり、地域を紹介したりする。	中学校 小学校（高学年）

## 5 ふるさとキャリア教育推進体制

### (1) 新見市ふるさとキャリア教育推進協議会

令和元年度より設置し、本年度2回の協議会を実施する。

#### 趣旨

- ①推進協議会は新見市のふるさとキャリア教育の推進に当たり、その取組について成果及び諸課題に関する事項を協議する。
- ②推進協議会は各構成団体の協力体制について協議するとともに、事業実施に向けて活動場所等の確保にあたり、啓発及び協力依頼を行う。

#### 協議内容

- ・各団体等との連携、連携体制の確立について
- ・生徒の活動場所等の確保について
- ・各中学校区の推進委員会への情報提供、支援、協力について
- ・その他

### (2) 中学校区推進連絡会

小・中学校が連携したふるさとキャリア教育ができるよう、必要に応じて設置する。

#### 趣旨

推進連絡会は、市のふるさとキャリア教育推進協議会からの情報提供を受け、活動場所等の協力依頼及び確保を行い、小・中学校での見学・交流・体験等の活動の円滑なふるさと学習の実施に向けて、事業を推進する。

#### 活動内容

- ・保護者、地域社会等へ事業の趣旨等の啓発及び協力依頼を行う。
- ・ふるさとキャリア教育推進協議会の情報提供を受け、生徒の活動場所を確保するとともに、活動内容の適否等を判断する。
- ・その他、小・中学校が連携した事業の実施に向けて、必要な活動を行う。

### (3) ふるさとキャリア教育カリキュラム作成部会

令和2年度より設置し、本年度も設置する。

#### 趣旨

推進校である刑部小学校、大佐中学校の小中一貫した取組をもとに、新見市内全体で小中一貫したカリキュラムの作成を行う。

#### 活動内容

- ・ふるさと学習で必ず扱う内容（千屋牛、ピオーネ、石灰、新見庄）について、具体的な学習内容や学習方法について検討を行う。